

応援します。 家庭ごみ減量作戦

ごみ減量のひとつに、「家庭ごみの減量」があります。中でも野菜くずなどの生ごみは、生ごみ処理機などで大幅に減量できます。また、最近では、せん定などにより出た枝葉は小枝粉碎機などにより、その容量を大幅に減量できます。

市では、こうした「家庭用生ごみ処理機」や「家庭用小枝粉碎機」を購入された場合に購入金額に対して助成を行っています。

補助金の助成を希望される人は、印鑑・領収書・保証書の写し（名称、形式等がわかるもの）を持参の上、市役所環境課までお越しください。

庭木のリサイクル

家庭用小枝粉碎機

今年度から、新たに購入金額の助成を行っています。庭などのせん定から出た枝葉の体積を約1/5にします。

粉碎により処理した枝葉は、可燃ごみとしても出せますが、有機肥料にすることができ、家庭菜園などにも利用できます。

補助額は、購入費の1/2、限度額は20,000円です。



生ごみを手軽にたい肥化1 コンポスト



土壌微生物の働きにより、有機質のごみを発酵・分解し、減量します。

価格は安価で、生ごみ処理機のように電気代は不要ですが、消耗品の発酵促進剤と防虫剤が必要。埋め込み型と地上設置型があります。

補助額は、購入費の1/2、限度額は4,500円です。

生ごみを手軽にたい肥化2 生ごみ処理機



生ごみを温風乾燥（乾燥式）や微生物分解（バイオ式）などにより、比較的手軽に減量し、たい肥などとしても利用できます。

台所やベランダ・軒下などに設置できるので、庭のないご家庭でも利用できます。乾燥式は、ヒーターなどの温風を利用して水分を蒸発させ、約1/7まで減容します（カタログ数値）。バイオ式は微生物の働きで生ごみを分解し、約1/10～1/20まで減容します（カタログ数値）。

いずれも、コンポストと比較すると、大きさはコンパクトですが値段は高価です。電気代は、月に約300円～1,000円ほどかかります。

補助額は、購入費の1/2、限度額は20,000円です。

とても便利ですよ



高橋和子さん
(本郷町)

商品化されたときから興味はありました。以前は、家庭から出た野菜くずは畑へ持って行き、自然たい肥化していました。

昨年まではハエなど気になりましたが、今年の夏はほとんどいませんでしたね。

置き場所によっては臭いが気になるときはありますが、それでも重宝しています。